



2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

東

上場会社名 株式会社Aiming 上場取引所
 コード番号 3911 URL <http://aiming-inc.com/ja>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎葉忠志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部 ディビジョンディレクター (氏名) 田村紀貴 (TEL) 03(6672)6159
 定時株主総会開催予定日 2023年3月30日 配当支払開始予定日 2023年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期の連結業績(2022年1月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	13,668	—	400	—	315	—	601	—
2021年12月期	—	—	—	—	—	—	—	—
(注) 包括利益	2022年12月期 178百万円(—%)		2021年12月期 100百万円(—%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年12月期	15.04	15.03	9.3	4.0	2.9
2021年12月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2022年12月期 △104百万円 2021年12月期 100百万円

(注) 当社は、2022年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年12月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	8,600	6,829	78.3	168.25
2021年12月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2022年12月期 6,735百万円 2021年12月期 100百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	△350	△262	381	5,253
2021年12月期	—	—	—	—

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2021年12月期	0.00	0.00	0.00	3.50	3.50	139	11.9	2.5
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00	80	13.3	1.2
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2023年12月期の配当額は未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第1四半期	4,719	—	220	—	218	—	△35	△0.87

(注) 当社は、スマートフォンを中心としたオンラインゲーム事業を展開しており、短期的な変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとの決算短信発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
 新規 1社（社名）陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン（国内版）製作委員会
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期	40,033,700株	2021年12月期	39,913,600株
② 期末自己株式数	2022年12月期	0株	2021年12月期	0株
③ 期中平均株式数	2022年12月期	39,993,253株	2021年12月期	39,712,336株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	13,033	8.1	823	△44.7	738	△48.8	601	△48.6
2021年12月期	12,054	1.3	1,490	△11.0	1,443	△12.7	1,170	△30.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年12月期	15.04		15.03					
2021年12月期	29.46		29.34					

個別経営成績に関する注記

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年12月期	8,481		6,735		79.4	168.25		
2021年12月期	7,204		6,234		86.5	156.20		

(参考) 自己資本 2022年12月期 6,735百万円 2021年12月期 6,234百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「世界中にAimingのファンを」をミッションに掲げ、スマートフォンをはじめとした基本無料の「オンラインゲーム事業」を主たる業務としております。

国内のスマートフォン向けオンラインゲーム市場は、2021年度は1兆3,000億円となり、2023年度には1兆3,390億円になると予測(※)されており、成長は鈍化しているものの安定した市場規模を維持しております。その一方、アニメやゲームなどの知名度の高いIP(Intellectual Propertyの略)を題材としたタイトルや、品質の高い海外企業のゲームが国内でサービスを開始するケースも多く、競争は激化しております。また、国内外の品質の高いゲームが市場に投入されることで、ユーザーの求めるゲーム品質の水準が高まっていることから、ゲームの開発期間は長期化し、開発費用も高騰しております。

このような状況の中、当社グループはオンラインゲーム事業のさらなる成長およびシェアの拡大を目指し、サービス中タイトルの拡充と開発中タイトルの準備を進めてまいりました。

サービス中タイトルにつきましては、株式会社スクウェア・エニックスとの共同開発タイトル『ドラゴンクエストタクト』が2周年を迎え、周年イベントやコラボイベントなどの実施を通じて、アクティブユーザー数を維持し、収益に貢献いたしました。『剣と魔法のログレス いにしえの女神』や『CARAVAN STORIES』をはじめとする他タイトルについては、長期運営によるKPIの低下は見られるものの、アニメIPとのコラボの実施等により、アクティブユーザー数及び課金ユーザー数の維持に努めました。

開発中タイトルにつきましては、『キャラスト魔法学園』を2022年4月25日にリリースし、またLiTMUS株式会社との共同事業として『脱獄ごっこPRO』を2022年11月17日にリリースいたしました。さらに、株式会社KADOKAWA等とともに製作委員会を組成し、『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』を2022年11月29日に全世界に向けて同時配信いたしました。今後ますます激化することが予想される市場競争に対し、IP取得や共同事業などの施策に取り組んでまいります。

『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』の製作にあたって、他社との共同出資により陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン(国内版)製作委員会を組成しておりましたが、期末決算処理において会計監査人との協議の結果、当社の出資比率及び契約上の地位や役割等の実質支配力基準により本製作委員会を当社の連結子会社として扱うこととし、2022年12月期より連結決算に移行いたしました。当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較・分析の記載はしていません。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は13,668百万円、営業利益は400百万円、経常利益は315百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は601百万円となりました。

(※) 出典：『ファミ通ゲーム白書2022』株式会社角川アスキー総合研究所

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産につきましては、8,600百万円となりました。主な内訳としては、現金及び預金5,253百万円、売掛金及び契約資産2,353百万円、敷金及び保証金288百万円であります。

当連結会計年度の負債につきましては、1,771百万円となりました。主な内訳としては、未払金863百万円、買掛金430百万円、契約負債230百万円であります。

当連結会計年度の純資産につきましては、6,829百万円となりました。主な内訳としては、資本金2,556百万円、資本剰余金2,546百万円、利益剰余金1,632百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度より239百万円減少し、5,253百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって減少した資金は350百万円となりました。これは主として、未払金の増加535百万円、税金等調整前当期純利益の計上315百万円があったものの、売上債権及び契約資産の増加1,278百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって減少した資金は262百万円となりました。これは主として、敷金及び保証金の差入による支出121百万円、関係会社出資金の払込による支出115百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって増加した資金は381百万円となりました。これは主として、剰余金の配当による支出139百万円があったものの、非支配株主からの払込みによる収入517百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、スマートフォンを中心としたオンラインゲーム事業を展開しており、短期的な変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

なお、2023年12月期の業績予想(2023年1月1日～3月31日)につきましては、サマリー情報をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2022年12月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,253,255
売掛金及び契約資産	2,353,915
商品	2,680
貯蔵品	97
前払費用	165,770
未収入金	158,966
その他	19,240
貸倒引当金	△22
流動資産合計	7,953,903
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	60,027
機械及び装置（純額）	0
工具、器具及び備品（純額）	22,040
有形固定資産合計	82,068
無形固定資産	
ソフトウェア	1,328
無形固定資産合計	1,328
投資その他の資産	
関係会社出資金	11,412
長期前払費用	55,000
繰延税金資産	208,497
敷金及び保証金	288,582
投資その他の資産合計	563,492
固定資産合計	646,888
資産合計	8,600,792

(単位：千円)

当連結会計年度
(2022年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	430,797
未払金	863,366
未払費用	105,892
未払法人税等	62,913
未払消費税等	24,356
契約負債	230,669
その他	38,669
流動負債合計	1,756,664
固定負債	
長期未払金	14,592
固定負債合計	14,592
負債合計	1,771,256
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,556,676
資本剰余金	2,546,676
利益剰余金	1,632,469
株主資本合計	6,735,823
非支配株主持分	93,712
純資産合計	6,829,535
負債純資産合計	8,600,792

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
売上高	13,668,607
売上原価	6,154,491
売上総利益	7,514,115
販売費及び一般管理費合計	7,113,922
営業利益	400,193
営業外収益	
受取利息	324
受取分配金	2,783
補助金収入	1,901
固定資産受贈益	22,544
その他	1,779
営業外収益合計	29,333
営業外費用	
支払利息	78
持分法による投資損失	104,227
その他	9,541
営業外費用合計	113,847
経常利益	315,679
税金等調整前当期純利益	315,679
法人税、住民税及び事業税	129,314
法人税等調整額	7,775
法人税等合計	137,090
当期純利益	178,589
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△423,287
親会社株主に帰属する当期純利益	601,877

連結包括利益計算書

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期純利益	178,589
包括利益	178,589
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	601,877
非支配株主に係る包括利益	△423,287

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,537,178	2,527,178	1,170,290	6,234,646
当期変動額				
新株の発行	19,498	19,498	—	38,996
剰余金の配当	—	—	△139,697	△139,697
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	601,877	601,877
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	19,498	19,498	462,179	501,176
当期末残高	2,556,676	2,546,676	1,632,469	6,735,823

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	—	6,234,646
当期変動額		
新株の発行	—	38,996
剰余金の配当	—	△139,697
親会社株主に帰属する当期純利益	—	601,877
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	93,712	93,712
当期変動額合計	93,712	594,888
当期末残高	93,712	6,829,535

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	315,679
減価償却費	14,939
コンテンツ償却費	44,607
株式報酬費用	28,092
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7
受取利息及び受取配当金	△324
受取分配金	△2,783
支払利息	78
持分法による投資損益(△は益)	104,227
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,278,237
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,727
仕入債務の増減額(△は減少)	258,365
未払金の増減額(△は減少)	535,637
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,860
その他	△164,318
小計	△213,632
利息及び配当金の受取額	324
利息の支払額	△78
法人税等の支払額	△137,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	△350,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,593
無形固定資産の取得による支出	△980
敷金及び保証金の差入による支出	△121,764
敷金及び保証金の回収による収入	393
関係会社出資金の払込による支出	△115,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	3,811
配当金の支払額	△139,697
非支配株主からの払込みによる収入	517,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	381,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,447
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,843
現金及び現金同等物の期首残高	5,493,098
現金及び現金同等物の期末残高	5,253,255

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

主な変更点は、以下のとおりです。

(オンラインゲーム配信に係る収益認識)

従来、ゲーム内の有償通貨をユーザーが消費し、アイテムに交換した時に収益を認識しておりましたが、有償通貨を消費して入手したアイテムの利用期間を見積り、当該見積り利用期間に応じて収益を認識することといたしました。

(オンラインゲーム制作・運営受託に係る収益認識)

受注契約に関して、従来は、プロジェクトの進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を適用しておりましたが、一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短いものを除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識し、一時点で充足される履行義務については、履行義務を充足した時点で収益を認識することといたしました。なお、履行義務の充足にかかる進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した開発原価が、予想される開発原価の合計に占める割合に基づいて行っております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準の適用による当連結会計年度の損益に与える影響はありません

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり純資産額	168.25円
1株当たり当期純利益	15.04円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	15.03円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	601,877
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	601,877
普通株式の期中平均株式数(株)	39,993,253
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	26,768
(うち新株予約権(株))	(26,768)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。